



4年生「体験グローバル」SGH企業訪問（実地調査） 実施報告

日時：2018年8月2日

場所：福山市役所

参加者：生徒名37名、引率教員4名

実施内容

福山市役所およびネウボラ相談窓口（リムふくやま）を訪問した。事前に生徒からの質問事項を市役所で調整役をしていただいた企画政策課中山様、洲澤様にお伝えし、生徒は3つに分かれてグループワークを行った。「都市の魅力向上と人口減少対策について」は情報発信課と企画政策課、「観光振興について」は観光課と経済総務課、「産業の活性化と駅前再生について」は産業振興課、企業誘致推進課と福山駅前再生推進室の職員がデータなどを用いて現状や今後の展望などについて丁寧に説明して下さった。

「観光振興について」のグループワークでは、観光客へのアンケート調査などから福山市訪問目的の1位が「車の浦観光」であることや映画やドラマのロケ地になることが観光客増加の要因となっていることなどを解説いただいた。情報発信のためには、いかに情報を拡散してもらえるかが重要で、「SNSに載るとよいな」といった漠然とした願望止まりではなく、ネットエージェントを精査し、伝える対象、伝える内容、伝える手段にもこだわっておこなっていると熱く語っていただいた。そして、生徒から福山市の観光を活性化させるための提案などもあり、活発かつ和やかな質疑応答が行われた。

議場を見学した後、リムふくやまに移動し、ネウボラ相談窓口「あのね」を訪問した。ここは、現在市内12箇所に設けられた内の1つであり、次の4つの役割を担っておられる。1つ目は「子育て支援」として、子どもが安心して遊べる広場を提供し、そこで保護者は情報収集を行うこともできる場である。2つ目は「ファミリーサポート」として、短時間のシッターを派遣するなどの業務である。3つ目は「ことばの相談室」として、コミュニケーションや発達に不安を抱える保護者を支える役割である。4つ目はネウボラ（フィンランド語でアドバイスの場）そのもので、総合的な子育て支援である。妊娠、出産、子育てに関し、切れ目のない支援を行うために、医療・保健・福祉等の相談体制を再構築し、子育てに関する不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境を提供するための場である。

そのネウボラ相談窓口「あのね」の中に足を踏み入れて、元気に遊ぶ子ども達や笑顔の保護者、それを支えるスタッフの方々にあたたかく迎えられ、担当して下さった向本様から愛情あふれる説明をいただいたことなど、生徒の心に強く印象に残る実地調査となった。



〔生徒の感想〕

- 今回の訪問で、福山市役所と企業の深い関わりが分かった。特に印象深かったのは、「福の耳プロジェクト」という、市内の2600にも及ぶ会社を一つずつ訪問する活動だ。この活動の報告書を調べれば、自分の班の課題研究にとっても役立つと思った。また、企業に対して情報伝達、人材確保と育成、相談、助成金などのサポートをしている。これからの時代、行政との関わりも企業の活性化につながるだろうと思った。また、グローバル産業に対する取り組み、たくさんあるナンバーワン・オンリーワンを活かすこと、IOTやAIを利用することが今後企業にとって大切だと考えているようだ。これらの課題と成功事例を調べ、班で互いに意見を出しながら課題研究をすすめていきたいと思う。
- 今回の訪問を通して、福山市について基本的なデータや現在行っている取り組みについてなど様々なことを知ることが出来た。福山市は減少傾向にある人口を出産とは別の方法（若年層の転入など）でも増やそうとしている。また、尾道市、三原市、笠岡市、井原市など近隣都市と「連携中枢都市圏」なる関係を築き、福山市の全国的な知名度の上昇を、福山市のブランド品や観光地を通して図っていることを知った。私たちの考えた、福山市の魅力向上における問題点と実際に福山市が解決に行き詰まっている点が似ていたので、今までのプランと同じように、福山市と同種の他の自治体の例を参考にしながら、福山市の長所（鞆の浦、デニム、バラなど）を活かした取り組みを提案していこうと思った。また、それと同時に福山市の過去の取り組みも参考にしようと思った。
- 正直言うと、今まで福山市はアピールする努力をしているのだろうか、と思っていたが、それは自分が福山市の努力を知らなかっただけということに気付くきっかけとなった。福山市はターゲットを絞ったり、活性化するために市全体で協力して、備後地区という広い枠組みで観光事業を進めていることが分かった。自分も福山市に行く動機付けを作る方法やどのようなPRやサービスをしたら観光客を増やすことが出来るのかなどについて、自分なりに考えてみようと思った。今回頂いた資料を参考にしながら進めていきたい。
- 学校での講義ではあまり触れられていなかった福山市の人口減少の様子や鞆の浦のPRの方法、SNSの活用など、取り組みについて詳しく知ることが出来た。観光とSNS、人口減少などを関連づけて考えていきたい。また、その課題と改善方法を見つけて、よりよくする方法を提案したいと思った。
- 今回の訪問で、人口減少を止めるために、人口の増減を数値のみではかるのではなく、性別や年齢別にみていくことで、原因などをより深く推察することが出来た。また、子育て支援の場（ネウボラ）を実際に訪問することで、私たちが知らない現場の空気を感じる事が出来た。これから地元で定住してもらうための方法や観光で訪れるだけから移住してもらうための方法を調べたいと思う。
- 福山市の産業活性化と駅前再生について話を聞いた。福山市の産業はいろいろな分野があるのでバランスが良く、税収の偏りが少ない。人口流出が進んでいるので、都市部からの働き手や企業を誘致しようとしている。駅前が寂れていることに関しては、検討中であり、民間企業とも協議をし、福山市が考える理想の駅前に近づけているなどである。私は福山市にある世界トップレベルの企業をもっとPRする方法がないのか気になった。また、新幹線の停車駅にもかかわらず、駅前の商店街が寂しいのは良くないと思ったので、どうしたら市民と観光客のどちらのニーズにも合った商店街になるのか考えたい。今後PRが成功して、福山市の財源が増えたりした時に、日本でも有数の都市にするにはどうすればよいか考えたいと思う。
- ネウボラ相談窓口に行き、子どもを実際に預かる為に親と職員が相談する様子を見学した。